

【登場人物】	
星 北斗 ほし ほくと	12歳。12月17日生まれ射手座A型。身長やや高い方。中肉。このお話の主人公。
レマノ	年齢不明（長寿種）見た目は20代そこそこ。市長補佐をやっている。代々市長を輩出している家の出身で、現市長のサフィールは叔母に当たる。様々な魔法を得意としている。シヨタの気あり。
ラインマイン	12歳。ステルダ出身。身長普通よりやや高め。赤い髪をボブにしている。美人と言うより可愛い親しみ易そうな感じ。発育している方らしい（ホクトの観察による）。強靱種。成績はざりざり状態。親は巨大な農場の経営者。兄が二人いるが、学業成績が今一つなのでラインマインが跡継ぎとされている。必要な商業系資格を取るためには高級大学まで行く必要があるらしい。また家族では父とラインマインの二人だけが強靱種で、他は普通。
ヘルヴェティア （ヘラ）	12歳。身長高め。黒髪長髪のお嬢様タイプ。レマノがいるカイドーの出身。家は豪商らしい。勉強はあまり好きでは無く本当は普通の中級学校に行くつもりだった。
アルバレート （アル）	12歳。身長低く細い、体格としては小学校5年生の標準以下。長寿種。父はステルダの地方統治官（県知事。名前はブラバント）。長寿種らしい長寿種で体力は無く発育も遅い。ただ知的好奇心と学力は人以上。秀才型。
メルクール （メル）	12歳。割と小柄。アルやラインマインの幼なじみで同じステルダのアム市出身。祖父が魔法文明系の他世界人、本人もいくつかの魔法が使える。身体能力は普通。
アンブロシア （アン先輩）	14歳。どう見ても小学3～4年生のお子様。髪は黒髪おかつぱ。外見は日本人形風。長寿種と強靱種の両方の血が出たため成長が遅い。でも筋力は強靱種の平均はある（ラインマインには発育の差で負ける模様）ヘラの先輩でレマノの姪。技術研究会会長でただ一人の常勤会員。（つまり他は幽霊部員）
パヴァリア先生	摂理学の主任教授で技術研究会の顧問。多忙なため技術研究会には滅多に顔を出さない。
【諸知識】	
単位など	数字は10進法を採用 距離はだいたい1キロ=1離、一メートル=1腕（わん）1センチ=1指 時間は1時間=1刻 ～時という時間は、朝4時半を0として、朝5時半=1の鐘、朝6時半=2の鐘……と続く。 ただし鐘とつくのは14半の鐘（19時）まで。 その後は15の錠、16の錠……となり23の錠、0の錠まで。 明るい時間は鐘、暗くて鐘の鳴らない時間は錠になる。 なお昼間は半の時間に半鐘が鳴る
通貨	金、銀、銅貨となる。 銅小貨10円、正銅貨100円 合銀小貨1000円、銀小貨2000円、銀半貨5000円、正銀貨1万円 金小貨5万円（1.5グラム）、正金貨10万円（3グラム） 普通は銀貨までしか使わない。 なお売店のおにぎり1個が100円として換算。服はこの時代結構高く、ワイシャツ代わりの上着で銀半貨する。ズボンは正銀貨1枚。
月・日・周	1月は28日前後で年によって閏月がある（太陽太陰暦） 週にあたるのが周で6日周期。周1から周5がウィークデーで周空が休み
学生の日課時限	1の鐘 起床（という事になっている）朝5時半に相当 2の鐘 朝食営業開始 3の鐘 教室着席完了。授業1時限目開始 4の鐘 授業2時限目開始 5の鐘 授業3時限目開始 6の鐘 授業4時限目開始 7の鐘 昼食休憩開始 8の鐘 授業5時限目開始 9の鐘 授業6時限目開始 10の鐘 放課後時限。課外活動がある人はここから開始。無い人は自由 12の鐘 放課後時限終了 課外活動終了 夕食開始 13の鐘 夕食終了 1年生風呂の時間開始 13半の鐘 1年生風呂時間終了 14半の鐘 日課終了 音が鳴る最後の鐘（ただし半の鐘なので半鐘）19時に相当

鐘と時間対応表	<p>1の鐘や2の鐘等はその回数の鐘が、半の鐘は半鐘1回だけが鳴る。 ただし14半の鐘に限り、半鐘が2回鳴る。これは最後の鐘である事を明示する為</p> <table border="0"> <tr> <td>1の鐘</td><td>AM5:30</td><td>1半の鐘</td><td>AM6:00</td></tr> <tr> <td>2の鐘</td><td>AM6:30</td><td>2半の鐘</td><td>AM7:00</td></tr> <tr> <td>3の鐘</td><td>AM7:30</td><td>3半の鐘</td><td>AM8:00</td></tr> <tr> <td>4の鐘</td><td>AM8:30</td><td>4半の鐘</td><td>AM9:00</td></tr> <tr> <td>5の鐘</td><td>AM9:30</td><td>5半の鐘</td><td>AM10:00</td></tr> <tr> <td>6の鐘</td><td>AM10:30</td><td>6半の鐘</td><td>AM11:00</td></tr> <tr> <td>7の鐘</td><td>AM11:30</td><td>7半の鐘</td><td>PM0:00</td></tr> <tr> <td>8の鐘</td><td>PM0:30</td><td>8半の鐘</td><td>PM1:00</td></tr> <tr> <td>9の鐘</td><td>PM1:30</td><td>9半の鐘</td><td>PM2:00</td></tr> <tr> <td>10の鐘</td><td>PM2:30</td><td>10半の鐘</td><td>PM3:00</td></tr> <tr> <td>11の鐘</td><td>PM3:30</td><td>11半の鐘</td><td>PM4:00</td></tr> <tr> <td>12の鐘</td><td>PM4:30</td><td>12半の鐘</td><td>PM5:00</td></tr> <tr> <td>13の鐘</td><td>PM5:30</td><td>13半の鐘</td><td>PM6:00</td></tr> <tr> <td>14の鐘</td><td>PM6:30</td><td>14半の鐘</td><td>PM7:00</td></tr> </table>	1の鐘	AM5:30	1半の鐘	AM6:00	2の鐘	AM6:30	2半の鐘	AM7:00	3の鐘	AM7:30	3半の鐘	AM8:00	4の鐘	AM8:30	4半の鐘	AM9:00	5の鐘	AM9:30	5半の鐘	AM10:00	6の鐘	AM10:30	6半の鐘	AM11:00	7の鐘	AM11:30	7半の鐘	PM0:00	8の鐘	PM0:30	8半の鐘	PM1:00	9の鐘	PM1:30	9半の鐘	PM2:00	10の鐘	PM2:30	10半の鐘	PM3:00	11の鐘	PM3:30	11半の鐘	PM4:00	12の鐘	PM4:30	12半の鐘	PM5:00	13の鐘	PM5:30	13半の鐘	PM6:00	14の鐘	PM6:30	14半の鐘	PM7:00
1の鐘	AM5:30	1半の鐘	AM6:00																																																						
2の鐘	AM6:30	2半の鐘	AM7:00																																																						
3の鐘	AM7:30	3半の鐘	AM8:00																																																						
4の鐘	AM8:30	4半の鐘	AM9:00																																																						
5の鐘	AM9:30	5半の鐘	AM10:00																																																						
6の鐘	AM10:30	6半の鐘	AM11:00																																																						
7の鐘	AM11:30	7半の鐘	PM0:00																																																						
8の鐘	PM0:30	8半の鐘	PM1:00																																																						
9の鐘	PM1:30	9半の鐘	PM2:00																																																						
10の鐘	PM2:30	10半の鐘	PM3:00																																																						
11の鐘	PM3:30	11半の鐘	PM4:00																																																						
12の鐘	PM4:30	12半の鐘	PM5:00																																																						
13の鐘	PM5:30	13半の鐘	PM6:00																																																						
14の鐘	PM6:30	14半の鐘	PM7:00																																																						
風呂	<p>湯船はなし。 蛇口がある洗い場みたいなところと湯滝（シャワー）だけ。 洗い場みたいなところで服を洗い、湯滝で身体を洗う。 なお男女混浴。タオル代わりの布は風呂側が用意している。</p>																																																								
寮の個室	<p>1人1部屋。6畳くらいの居室とトイレ、洗面所がついている。床はフローリングというか木製。寝床はベッド</p>																																																								
トイレ	<p>いわゆるしゃがみ式（和式）のポットン便所。でも魔法で微生物を管理し消臭分解しているので匂いは無い</p>																																																								
部屋の洗面所	<p>わりと深めのシンクがついた水場。栓を抜くと水が出て栓をすると水が止まる。普段は栓をしておく。なお水は常にそこそこ冷たい。</p>																																																								
建物	<p>ほとんど全部が木造で、高くても三階建てまで。寮は二階建て。またこの国にはガラスが無い ため、窓は全て木戸と障子戸となっている。そのため開けたままでも雨風が入り込まないように、庇が大きく深い作りになっている。</p>																																																								
この国の地名等	<p>カイドーは商業指定都市。カウフォードは研究学園指定都市。なお指定都市は県と同じレベルの行政区画として扱われる。 カイドーとカウフォードの間は50離（=50キロ）と近い ステルダはカウフォードから180キロ位北方のアム市（指定でない都市）を中心とする県とか群に近い行政区画で、酪農が盛んで豊かな地方。名物はチーズとハム。 そのうち首都キョーナンとかも出てくる（カウフォードから360キロ南）</p>																																																								
交通網	<p>陸上は駅馬車が普通。ただ木星で乗り心地は悪く速度も平均8キロ程度と遅い。 低地が多いため、川と川を繋いだ大規模運河が何本か作られ、国の東側各大都市を結んでいる。なお船の動力は下流部では人力と潮汐と風力のあわせ技。故に風の向きが悪いとすぐに船は欠航する。また潮汐を移動手段として使うので、上り下りの時間は潮汐によって変化する。 なお、外洋は波が荒く海流も速いため航行は一般的では無い。また上流部では馬に引かせる等して遡上する場所もある。</p>																																																								
川船	<p>いくつかの規格が有る。 中流以下で使用される客船は長さ20メートル、幅5メートルの大壱という規格の船。客専用船の場合は船室が五部屋ある（他に船長や船員の部屋が1つ、荷物室が前後二つ） 大壱型貨客船は船室2つに前後荷物室。 なお動力は潮汐、川の流れ等を主に利用する。上流部を遡る際は重い荷物を減らした上で馬等で岸から引っ張る事も行われている。また上流部へは中式サイズ（長さ10メートル、幅2メートル）以下の船を使用する。</p>																																																								
この国の地形	<p>南北に長い大きい島（モトス島）を中心にした4つの大島、数多くの小島から成る列島国家。日本に比べると比較的平坦で最高地点でも標高1500メートル程度。気温は日本よりやや涼しいが寒くは無い。</p>																																																								
服装等	<p>ゴムとかベルトとかいう概念が無いので、基本紐で縛る形式。ボタンもほとんど無い。男も女も浴衣を半分丈にしたような上衣に、太めのズボン（袴を細くした感じとも見える）が標準。女性用は色が若干鮮やかだが、学園内での制服は男女とも色・形同じ。</p>																																																								

髪型その他	特に様式は無い。男子も女子も短髪長髪いろいろいるが、両方ともおかつぱ系の（女子としては）短めの髪が多数派。つまりホクト君はかなり短め。
技術水準	まだ蒸気機関や内燃機関は発明されていない。ただしごく一部には魔法による飛行機械や特殊加工技術等が存在する。また落ちてきた人の影響で活版印刷が常識化していたり地球とはやや異なった進化をしている。
学校制度	初級学校3年（小学校3年生）までは皆同じ。 その後成績で初級上位学校、初級後期学校に別れる。 さらに中学で上位中級学校、中級学校、職能学校に別れる。 職能学校3年の次には高等職能学校2年がある。 中級学校の上には高等学校、専門学校がある。 上位中級学校の上には上位高等学校、大學または高級大學、高級大學研究院がある。 レベルが上の学校から下の学校には行けるが、下の学校から上に行くのは相当厳しい。
この国	特に国民が自分の国の名前を意識することは無い。これは他の国との国交がほとんど無い為である。公式文書も我が国で通している。
政治体制	緩い封建制。首長レベルは世襲であるが、特権というものはほとんど無い。これは統治という行為が長寿種の一族によるサービス行為として捉えられている事による。なお封建制のため立法と行政は首長が職員を雇用している形になっているが、司法だけは別に独立している。
首長会議	指定都市と各地方の首長、及びこの国の元首による行政の最高決定機関。 元首（国王）、ステルダ地方統治官、アイル地方統治官、ヴァルツ地方統治官、ヴューラ地方統括官、トワ島地方統治官兼クラマント市長、ナント島地方統治官兼カルナ市長、シマ島地方統治官兼オルノ市長、キョーナン市管理長、カイドー市管理担当者、ドム口市商工会議所会頭、カウフオード市事務総長の十二人がメンバー。豪商の持ち回りであるドム口市会頭以外は長寿種による世襲である。
その他の用語	金庫：日本で言う銀行のこと 遠信処：電話みたいなもの。遠隔地への即座の連絡を行う。方法は魔法。宿や船、駅馬車の予約もこれで行う。